

市町村名	本部町
------	-----

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑧	山里山百合増殖普及事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-1-(1) 自然、歴史、伝統、文化などの固有の特性を生かした個性豊かな地域づくり
----------	-----	-------------	--------------------	---

担当部署名	企画政策課	事業実施(予定)年度	平成25~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
-------	-------	------------	-----------	--------------	---------

事業内容
在来種の山百合(鉄砲百合)を観光資源として活用した地域活性化を図るため、本部町の山里地域に多く自生している山百合の増殖・補植を行い、同地域を山百合で溢れる地域にする。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	68,570	—			
	(b) 予算現額	68,570	—			
	(c) 増減額 (b-a)	0	—			
	(d) 繰越額	0	13,480			
	A. 計 (b+d)	68,570	13,480			
	B. 執行済額	55,089	4,740			
	うち交付金充当額	44,071	3,792			
	次年度繰越額	13,480	0			
	執行率 (%) (B/A)	80.3%	35.2%			
予算の状況の説明	用地取得にあたって相続関係の手續きに不測の日数を要するとともに、購入予定地内に通用路が存在していることから分筆位置についての交渉に不測の日数を要したため繰越になった。不用額については、用地交渉がまとまらなかったため生じた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
自生山百合の補植:20,000株	目標	(補植20,000株)	()	()	()
	実績	補植20,000株			
山里地区でのイベント(山百合祭など)の開催	目標	(イベント開催1回)	()	()	()
	実績	イベント開催1回			
達成状況説明	平成25年度に百合を120,000株増殖し、20,000株の補植を実施した。また補植を行った山里地区において、カルスト山ゆり祭りを開催した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(24年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(27年度)
			イベント実施による観客数:300人	目標	(0人)	(300人)
自生山百合の補植:20,000株	実績		310人			
	目標	(0株)	(20,000株)	()	()	(120,000株)
実績			20,000株			

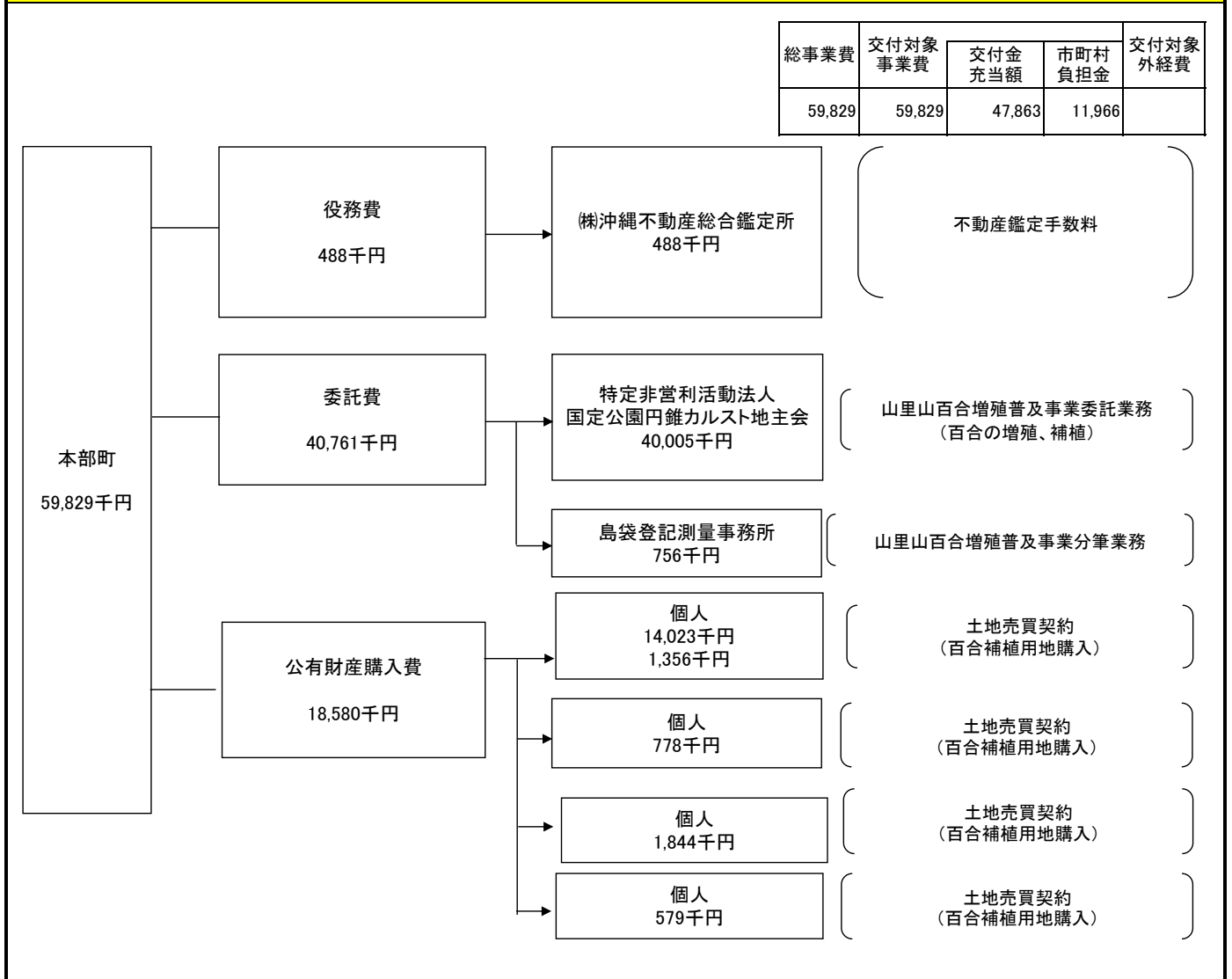
進捗状況説明
百合の補植について当初目標通り植付を実施できた。イベントについては、第1回カルスト山百合祭りを開催し、目標以上の来場者に来場いただきイベント実施により、山里地区を訪れる入域者数の増に貢献できた。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>山里地域の野山は鉄砲百合であふれる地域であったが、薪の確保が必要なくなった現在では、雑木に覆われ一面百合が咲き誇る光景を見ることはできなくなった。特異な地形景観から平成18年に沖縄海岸国定公園に指定され、徐々に入域者数が増加してきたが、地形以外の観光資源に乏しく、新たな観光資源として地元にある百合を活用した活用した地域活性化に取り組むこととした。</p> <p>イベント実施については、適切な開催場所の検討と、トイレ及び駐車場の確保が必要であるが、同地は採石場の設置を目的としてその大部分が企業所有地となっているので、土地の使用について地権者との調整を行う必要がある。</p> <p>百合の補植については、補植後の維持管理方法及び費用負担について、地域と調整を行っていく必要がある。</p>	<p>イベント会場となる土地の使用について地権者へ地域活性化への理解と協力を求め、使用協定の締結や土地の譲渡など対策を行っていく。</p> <p>百合の維持管理については、百合を活用した取り組みを持続可能なものとするために、特産品の販売や、一部景勝地への入場料徴収などイベントで収益を確保し、それを維持管理費に充てていくなど工夫していく。</p>

今後の取り組み方針

引き続き百合をメインとしたイベントを開催していき、山里地域への入域者数の増加を目指していく。イベントでは、百合の維持管理ができるよう収益面について工夫を行い、特産品の提供を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託費については、契約先が限られたため随意契約となったが、契約者以外からも見積書を徴し適切な額での契約に努めた。</p> <p>○予算規模については不用額が8,000千円あり、用地交渉で交渉がまとまらなかったためである。事業実施前から用地交渉を行うなど適切な規模の算定を行うよう改善していく必要がある。</p> <p>○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		本部町					
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	備瀬観光集落整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成25~27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり	
事業内容	昔ながらの集落景観を保全しつつ、備瀬集落の観光資源として整備を行うことで地域の活性化を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	80,873	-			
		(b) 予算現額	80,873	-			
		(c) 増減額(b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	0	30,523			
		A. 計(b+d)	80,873	30,523			
	B. 執行済額		50,350	30,500			
	うち交付金充当額		40,280	24,400			
	次年度繰越額		30,523	0			
	執行率(%) (B/A)		62.3%	99.9%			
予算の状況の説明		地元区の合意形成に不測の日数を要したことで繰越事業とはなったが、予算は適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・観光集落基本構想・計画策定	目標	・観光集落基本構想・計画策定 () () () ()				
		実績	・観光集落基本構想・計画策定				
	・フクギの剪定=約 7,000本	目標	(・フクギ剪定=約7,000本) () () ()				
実績		・フクギ剪定=859本					
達成状況説明	・観光集落基本構想・計画策定については、地域との集会により合意形成が図られ策定することができた。 ・フクギ剪定工事について、現地の状況から当初計画の剪定工法(ハシゴによる人力剪定)では不可能となったため重機類を活用した剪定工法に変更したことで単価増額になった。また、一部住民のフクギ剪定に対するの合意が得られなかったことで数量の減となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	・観光集落基本構想・計画策定	目標	() () () ()	・観光集落基本構想・計画策定	() () () ()		
		実績		・観光集落基本構想・計画策定			
	・フクギの剪定=約 7,000本	目標	() () () ()	・フクギ剪定=約 7,000本	() () () ()		
		実績		・フクギ剪定=859本			
進捗状況説明	・H25年度の観光集落基本構想・計画策定をもとに、H26年度においてフクギの剪定859本を完了したが、成果目標は未達成であった。未達成の理由としては、一部住民のフクギ剪定に対するの合意が得られなかったためである。今後の事業推進に当たっては、再度地域での説明会等において、本事業の趣旨及び目的等を再度説明しつつ、住民意見も踏まえながら事業の早期進捗を図る予定。						

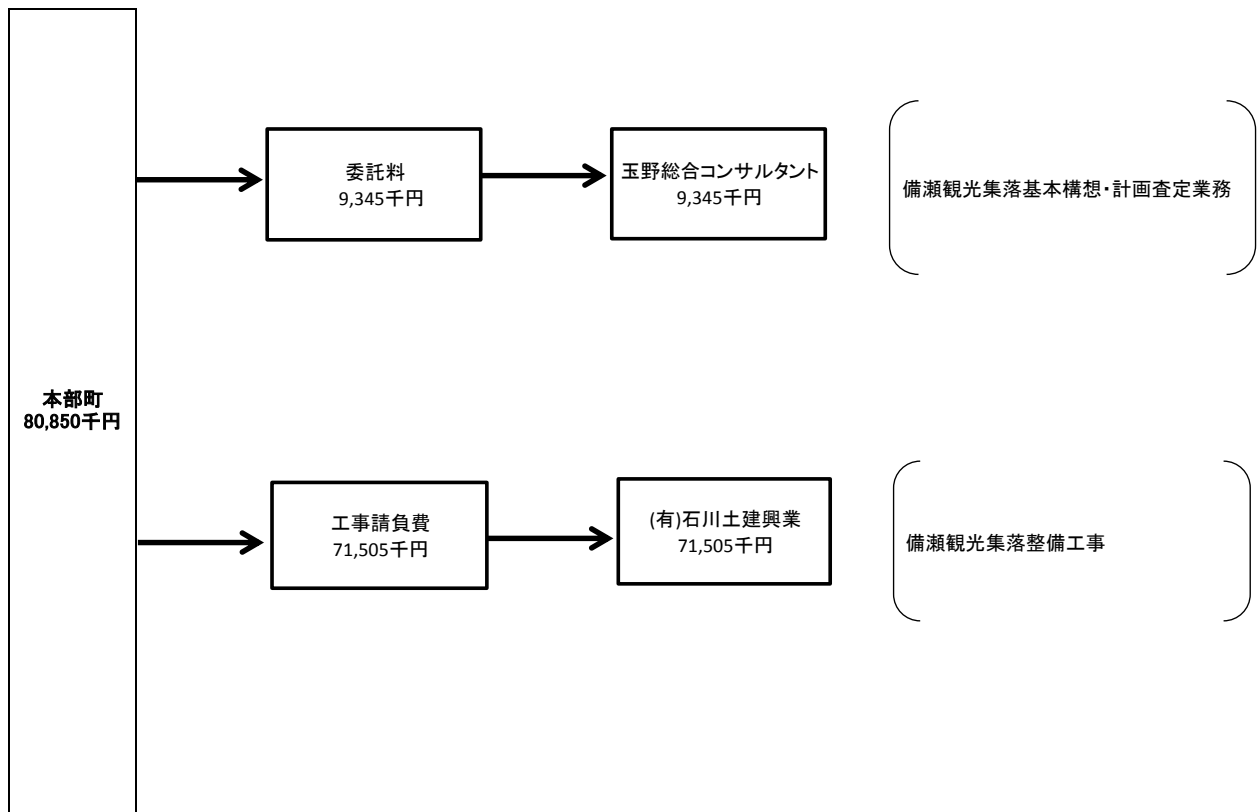
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・フクギの剪定における地域住民の意見が多様にあるため、剪定工法においても多様に対応することが求められている。	・住民の意見も尊重しつつコスト縮減に考慮した工法によりフクギ景観保全及び観光客の安全対策を図る。

今後の取り組み方針

フクギ剪定工事着手前に地域住民説明会において、事業の趣旨及び目的についての説明を十分に行い地域合意形成を図った後に剪定を行い早期完了を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
80,850	80,850	64,680	16,170	0



資金の流 点、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

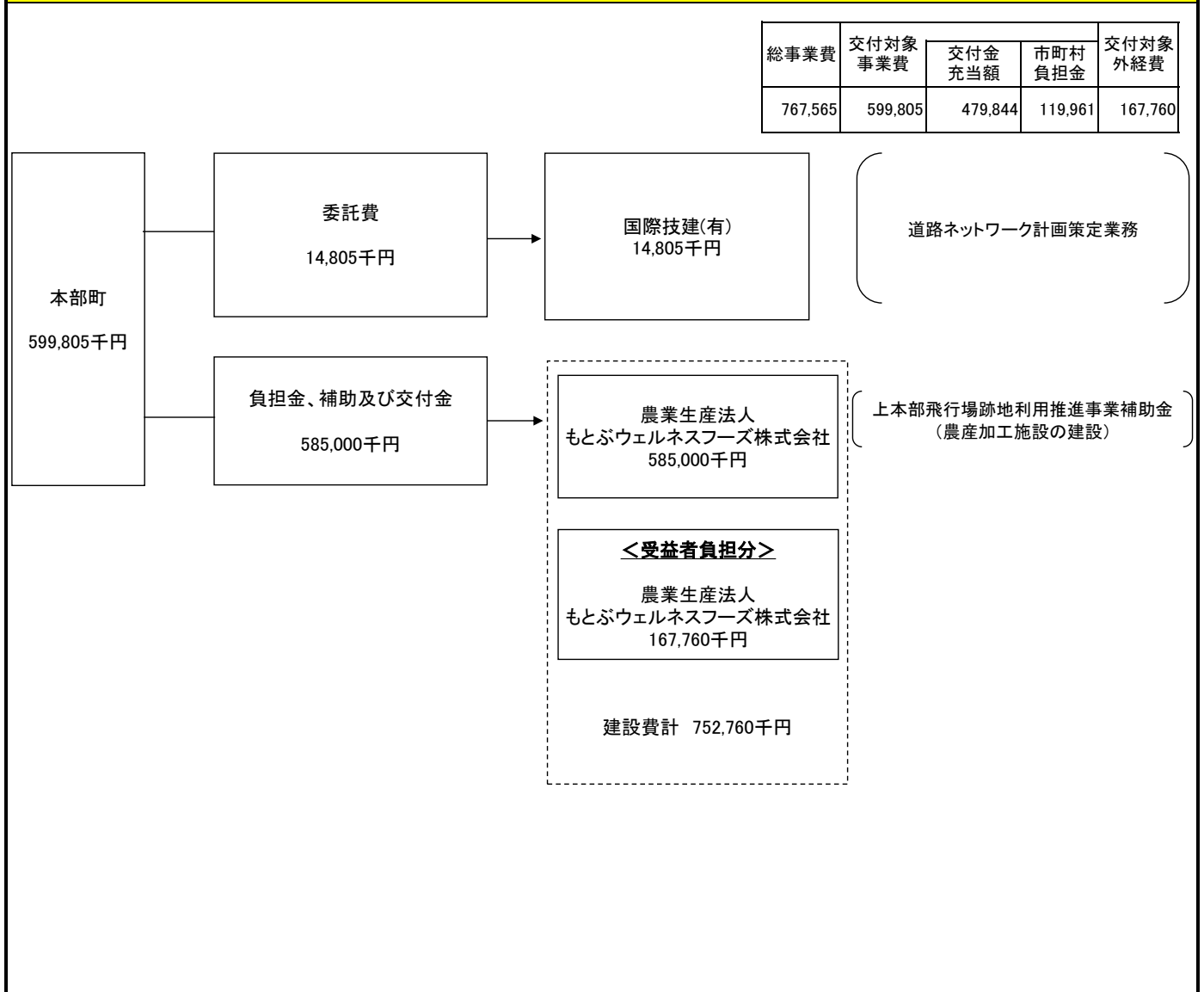
市町村名		本部町					
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	上本部飛行場跡地利用推進事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ 第3章-3-(13)-ウ 第5章-3-(1)-イ-(イ) ・駐留軍用地跡地の計画的な整備 ・跡地における産業振興及び 国際交流・貢献拠点の形成 ・農林水産業の振興		
担当部署名	企画政策課	事業実施 (予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-8 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	本事業は返還から44年間、計画的に利用されることなく放置され続けた上本部飛行場跡地の計画的利用を推進することを目的としており、農業振興及び観光振興を連携させた地域活性化策を同跡地で展開するために、跡地内において地域活性化に資する施設の整備促進を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	600,000	—			
		(b) 予算現額	600,000	—			
		(c) 増減額 (b-a)	0	—			
		(d) 繰越額	0	585,000			
	A. 計 (b+d)		600,000	585,000			
	B. 執行済額		14,805	585,000			
	うち交付金充当額		11,844	468,000			
	次年度繰越額		585,000	0			
	執行率 (%) (B/A)		2.5%	100.0%			
予算の状況の説明		整備地区内における道路改良工事(別工事)の遅れに伴い、整備予定の建物配置等が決定できず、施設整備にかかる設計・工事の施工に不測の日数を要し繰越事業とはなったが、予算は適正に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	道路網計画の策定	目標	(計画策定)	()	()	()	
		実績	計画策定済み				
	農産加工施設の建設補助	目標	(建設補助)	()	()	()	
実績		1件					
達成状況説明	同地域へのアクセスを検討するための道路網計画の策定を実施した。 跡地利用促進のため、地域農家で構成する法人へ補助を実施し、跡地内に農産加工施設を建設した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (25年度)
	道路網計画の策定	目標	(-)	(1件)	()	()	(1件)
		実績		1件			
	跡地の利用率1.9%(6,000㎡/314,923㎡)	目標	(-)	(1.90%)	()	()	(1.90%)
		実績		2.07%			
進捗状況説明	平成26年11月に補助施設が完成し、同月より供用が開始され、地域農産物を加工する拠点として運営されている。 また、道路網計画については、同地へのアクセス向上のための道路整備基礎資料として活用していく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本事業は返還から44年間、計画的に利用されることなく放置され続けた上本部飛行場跡地の計画的利用を推進することを目的としており、今回施設整備及び今後の道路整備についての基礎資料の策定を実施した。</p> <p>今後の跡地利用の推進にあたっては、跡地内の地権者との合意形成や、跡地内で町有地と私有地とが入り乱れている土地の整理が必要である。</p>	<p>跡地内の町有地及び民有地の整理について、土地区画整理事業、土地改良事業など適切な手法について検討し、円滑な跡地利用に向け取り組んでいく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

跡地内の道路として、町道石川謝花線の整備に着手し、平成29年度の竣工を目指している。
跡地利用については引き続き、民間を支援し円滑な跡地利用が図れるよう取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託費の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模については、適正な規模であったと考えている。</p> <p>○受益者の負担関係については、実質補助率77%程度となっており適切であったと考えている。</p> <p>○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	